

その他の製造業－その他における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13～14	工場内でプレス機の金型を取り付け作業中に、ネジの締め付けをしたところ、手がすべり尻もちをつく状態で転倒した。	54	—
4	9～10	配達先駐車場での商品積み下ろし時に、荷台から飛び降りたときにバランスをくずし、左足のふくらはぎを痛めた。	46	30～49
6	12～13	駐車場において、業務使用中のワンボックスカーの後部ドアより荷物の積み込み作業完了の後、ドアハッチを上部から勢いよく閉めた際、ドアの左側の縁に右側頭部が接触し、裂傷を負った。	43	1～9
6	10～11	社内工場内において、廃タイヤの破碎作業中、破碎設備のタイヤ自動搬送送出バーに安全ガードの外側から内に手をかけていたため接触し、骨折した。	60	10～29
7	20～21	生産数が完了した成形機の成形データを成形指図書に記録するため検査場から2階に上がる中央階段に向かうため検査台間の立入禁止区域看板をつけてあるチェーンをくぐり金型搬入コンベアを跨いだ。跨いだとき股が開ききった状態になり右ひざの内側をローラーコンベアにぶつけた。	28	10～29
7	10～11	成形機の固定型と可動型を離すため両方を凍結している金具（引っ張りリンク）のボルトを六角レンチにパイプを取り付けて緩めようとした時、左手が滑り型の一部（型取り付け板）に手をぶつけた。	65	100～299
	9～	飼料の配送業務終了後、ミキサー車（配送用車両、10 t 車）の飼料掃き出し口（放出口）の清掃中、掃き出し口が地上約1mの後輪の近くに位置していた為、後		1～

7	10	輪に足を掛けた姿勢でスコップを使用し清掃していたところ、降雨により地面が泥っていた為、軸足が滑り、姿勢を崩してよろけた際、左胸が掃き出し口に入っ てしまい、そのままの姿勢で体重が掛かり骨折したものである。	67	9
7	11～ 12	工場R倉庫内で梱包作業のため、釘打ち機（90mm釘用）で操作を誤り、右親指の当 たり負傷した。	47	10 ～ 29
10	16～ 17	倉庫内でパレットに5段積してあった南京袋（70c×60c×重さ50g）が乱雑に積ん であつたので、手カギを使い直そうと、袋に手カギを掛けたところ、右横に倒れ右 足太ももつけ根あたりを骨折した。	57	50 ～ 99
10	16～ 17	本人が会社にて看板製品部品の内、アクリル盤部品を作るため準備工程として、プ レス機に木型を設置しようとして作業していた際に発生した。事故防止のため機械の動 作は止めて確認後に作業していたが、木型設置手順ではプレス機の周囲で安全を確 かめて作業を行うところ、本人はプレス機の台座に上がり、作業してしまった。 その為に本来は安全な位置に固定してあるプレス機の一部に本人の頭部が強くぶつ かり、負傷した。本来の作業手順や方法を遵守せずに作業したことが原因である が、同じ作業に従事していた作業者らの注意喚起もされていない様子のため本人も 作業への安全について意識がなかったと思われる。	42	30 ～ 49
10	6～7	当事業所内解体作業場に於いて、ニブラに乗り解体作業をしていたところ、出荷業 者のトラックが来たので、誘導等の対応する為、ニブラから降りようとした。操 縦席から地面まで高さ（135cm）があつた為、一旦キャタピラに降りたところ、 キャタピラにオイルが付着しており、付着したオイルで滑り、転倒しキャタピラ部 分に背中を打って負傷した。	64	50 ～ 99
11	18～ 19	S1ライン供給工程M梱エリアで、部品パレットをシューターに投入する際、シュー ター前で停止しフォークを上昇させてから前進したが、上昇の高さが低くシュー ターと部品パレット下部が当たった。当たった衝撃でハンドルを持っていた左肩 に痛みを感じたが、その時は大丈夫と思い作業を継続し帰宅したが、翌日左肩の痛 みが出た。	64	100 ～ 299
		自社3Fの製作部前の作業通路にて、一人で宝石ディスプレイ用台座の再利用の仕		

11	10~ 11	分けを行っている際、その台座が入った重さ9~10kgのダンボールの中から台座を取り出そうとした時に、ダンボールとの距離感が狂いバランスを崩し、ゴムスリッパを履いていた足が前に滑って右足指をダンボールにぶつけ負傷し痛くなり、すぐに帰宅し、自宅近くの病院で手当てを受けた。	40	10 ~ 29
12	7~8	荷物（120cm×60cm×50cm、重さ約20kg）をワンボックス車で受け取りに行き、リアゲートから荷物を押し、被災者が荷台前方へ引き込む際、連携がうまくとれず手が荷物から抜けてしまい、その勢いで後部座席の鉄パイプ部分へ右手側面を強打ち、負傷したものである。	33	50 ~ 99
12	17~18	3階ブラスト室にて、高さ約1.8mのブラスト機天板に登り、機器部品の修理交換を行い、作業終了時に脚立を使用せずに飛び降り、右足踵にひびが入った。	44	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html